



制定日 2009/10/28

改定日 2020/07/15

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名	トラストクリーナーNH
製品の種類	印刷用ゴムロールクリーニング溶剤(印刷インキ洗浄用)
会社名	テクノロール株式会社
所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
担当部門	技術本部 化学部門
電話番号	0725(53)3933
FAX 番号	0725(53)3922
E-Mail	tech@technoroll.co.jp
管理No.	No. MD-TC05

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的性質	引火性液体	区分3
健康有害性	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経)

\*記載のないものは「区分外」、「分類対象外」、又は「分類できない」

国/地域情報 なし

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

警告  
引火性液体および蒸気 (H226)  
強い眼刺激 (H319)  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)  
中枢神経系の障害のおそれ (H371)

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
熱/火花/裸火/高温/のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。(P210)  
容器を密閉しておくこと。(P233)  
容器を接地すること/アースをとること。(P240)  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。(P241)  
火災を発生させない工具を使用すること。(P242)  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)  
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。(P270)  
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。(P280)  
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置

- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当を受けること。(P308+P313)
- ばく露した時、または気分が悪い時 : 医師に連絡すること。(P309+P311)
- 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当を受けること。(P337+P313)
- 火災の場合 : 粉末消火器、炭酸ガスを使用すること。(P370+P378)

保管

- 換気の良いところで保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

- 内容物/容器を都道府県知事の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名/成分	含有率
グリコールエーテル系溶剤	80~90 %
アルコール系溶剤	10~20 %

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄水で15分以上洗眼(眼の裏までよく洗う)した後、速やかに眼科医の治療を受ける。
- 皮膚に付いた場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに取り替え、触れた部分を大量の水及び石鹸で洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが取れない時は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に被災者を移して、保温し安静にする。呼吸が止まっている場合、及び呼吸が弱い場合は衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせないで医師の手当を受ける。嘔吐する場合、頭部を横に向ける。意識喪失の危険がある場合、待機や運搬は安全な側臥位で行う。
- 急性症状および遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
- 応急措置をする者の保護 : データなし
- 医師に対する特別な注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 消火活動は可能な限り風上から行う。作業者は必要に応じて呼吸保護具を着用する。火元への燃焼源を断ち、粉末ドライケミカル等を使って初期消火にあたる。火災が広がった場合は粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水によって消火する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する
- 環境に対する注意事項 : 多量の場合は土砂で囲む等、排水溝等への流出防止措置を講じた後、出来るだけ液の回収に努める。漏出した物が河川、湖沼や地下水に流出して環境汚染を起こさない様注意する。

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。  
 漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
 安全取扱い注意事項 : 炎や高温のものから遠ざけること。-禁煙。  
 取扱後は手などをよく洗うこと。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 火気厳禁  
 接触回避 : データなし  
 衛生対策 : 取扱い後は手などをよく洗うこと。

### 保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。火気厳禁  
 安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定  
 許容濃度 : 50 ppm, 150 mg/m<sup>3</sup> (tert-ブタノール、日本産衛学会 2015 年度版)  
 設備対策 : 密閉された装置、機器又は局所排気装置を設ける。  
 取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。  
 保護具 : <呼吸保護具> 必要により有機ガス用防毒マスク、自給式空気呼吸器  
 <保護眼鏡> 側板付き安全眼鏡  
 <保護手袋> 耐溶剤性のゴム手袋(不浸透性)  
 <保護衣> 耐溶剤性の保護衣、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的および化学的性質

- 外観 : 無色、液体  
 臭い : エーテル臭  
 沸点、初留点および沸騰範囲 : 96.0 ~ 224.0°C  
 蒸気圧 : データなし  
 比重 : 0.92 ~ 0.93 g/cm<sup>3</sup>  
 溶解性(水) : 水に完溶 (20°C) (水溶性)  
 引火点 : 53.0°C (タグ密閉式)  
 燃焼範囲 : データなし6  
 発火点 : 150°C以上  
 可燃性 : あり  
 自然発火温度 : 223°C

## 10. 安定性および反応性

- 安定性 : 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。  
 危険有害反応可能性 : 78°C以上では、蒸気、空気の爆発性混合気体を生じることがある。  
 強力な酸化剤と反応する。  
 避けるべき条件 : 裸火  
 混触危険物質 : 強力な酸化剤  
 危険有害な分解生成物 : 爆発性過酸化物

## 1.1. 有害性情報

混合物の有害性情報ない。

## 1.2. 環境影響情報

混合物の環境影響情報はない。

## 1.3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1.4. 輸送上の注意

- 国際規制 : 国際海上 (IMDG)、国際航空 (ICAO/IATA) の規則に従う。
- 国連番号 (UN No.) : 1993
- 国連品名 : その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの) (FLAMMABLE LIQUID, N. O. S.)
- 国連分類 : 引火性液体類
- クラス : 3
- 容器等級 : III
- 国内規制
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法及び道路運送車両法に定められている運搬方法に従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏洩のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
食品や飼料と一緒に輸送してはいけない。重量物を上積みしない。

## 1.5. 適用法令

- 消防法 : 危険物第4類第2石油類(水溶性液体) 危険等級III(2000L)
- 労働安全衛生法  
通知対象物質 ; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (政令番号 : 224-3)  
tert-ブタノール(政令番号 : 477)
- 表示対象物質 ; ジエチレングリコールモノブチルエーテル (政令番号 : 224-3)  
tert-ブタノール(政令番号 : 477)
- 有機溶剤中毒予防規則 : 非該当
- PRTR 法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Z類物質)

## 1.6. その他情報

- 荷姿 : 18L金属缶容器入り
- 注釈 : 本製品データは一般的な情報および経験に基づき得られたものです。  
本製品のもつ特性に関する品質保証を意味するものではありません。